

○ 平成24年度後期選抜の選考基準

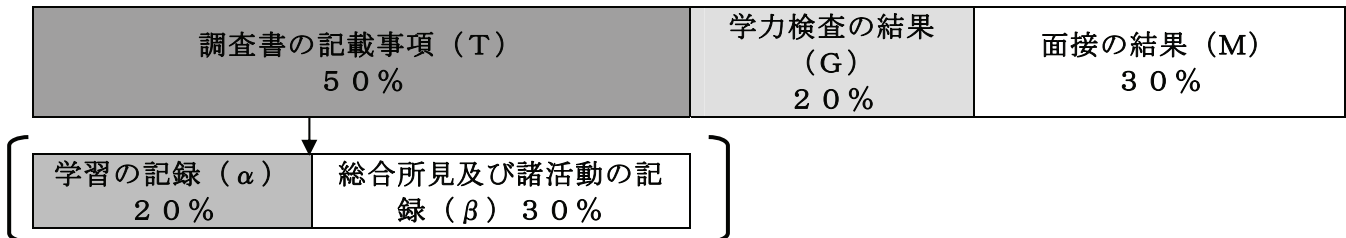
1 総合的選考の観点

次の①～④を合わせた内容

- ① 中学校の部活動や社会体育などの活動成果状況、特に本校が指定する種目
- ② 面接における態度やスポーツに対する意欲、興味、関心
- ③ 調査書におけるよい成果をあげた教科の評定とそれに対する取り組みの状況
- ④ 学力検査におけるよい成果をあげた教科の得点

2 総合的選考の方法

(1) 調査書と学力検査及び面接の活用割合 (調査書 : 学力検査 : 面接 = 5 : 2 : 3)



(2) 選考資料の扱い

ア 調査書の記載事項の扱いについて

(7) 学習の記録の中の評定の活用方法 (観点③を反映)

以下の表のとおり点数化し、α値 (2点満点) とする。

点数	2	1
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年の評定に5が1教科かつ4以上が2教科以上ある ・ 同じく4が4教科以上ある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年の評定に5が1教科かつ4以上が1教科ある ・ 同じく4が3教科以上ある

(4) 総合所見及び諸活動の記録の活用方法 (観点①を反映)

以下の表のとおり点数化し、β値 (3点満点) とする。

点数	3	2	1
内容	I 関東大会以上に出場 (競技人口、チーム数 が多く枠の少ない種 目は県大会でも可) II IIIでVIに該当するも の	III 県大会以上に出場 (競技人口、チーム数 が多く枠の少ない種 目は地区大会でも 可) IV VでVIに該当するも の	V 地区大会に出場 VI 所見での活動状況が 顕著なものなど

※ 特記事項の活用方法

特記事項に記載がある場合、その内容は問わず選考の参考資料とする。

後期選抜（厚木北高等学校／スポーツ科学コース）

(ウ) 調査書の記載事項に対する各項目の合計点数

(ア) と (イ) の合計点を **T 値** とする。

$$T \text{ (5点満点)} = \alpha + \beta$$

イ 学力検査の結果の扱いについて（観点④を反映）

以下の表のとおり点数化し **G 値**（2点満点） とする。

点数	2	1
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上位10%以内の教科が1教科以上かつ上位20%以内の教科が1教科以上ある ・ 上位20%以内の教科が3教科以上ある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上位10%以内の教科が1教科ある ・ 上位20%以内の教科が2教科ある

※ 上位10%以内、あるいは上位20%以内は、募集人員に対する割合とし、その成績は本校を受検した生徒のものを使用する。

ウ 面接の結果の扱いについて（観点②を反映）

面接では以下の「評価の観点」に基づき評価する。

評価の観点	特に重視する観点
志望の動機・理由	本校およびスポーツ科学コースの特色の理解。自己の適性や個性にてらした上での明確な展望
スポーツ科学に対する意欲・興味・関心	スポーツ科学コースの特徴的なカリキュラムを理解し、学習活動やスポーツ活動について具体的な計画を説明する力
学習意欲及び学校生活に対する積極性	スポーツを手段として自分を高めていくことについて具体的な目標とその方法や計画を説明する力。またスポーツ活動以外の学校生活についての積極的な姿勢
将来の希望・目的意識	自分の将来像について具体的に説明する力
面接態度	面接態度、言葉遣い、意欲的な姿勢

上記の「評価の観点」による評価の高い方から「◎」、「○」、「△」の3段階で評価し、三名の面接官の合計した点数（45点満点）を以下の表のとおり点数化し、 **M 値**（3点満点） とする。

点数	3	2	1
内容	面接官3名の面接合計点が40点以上	面接官3名の面接合計点が39～30点	面接官3名の面接合計点が29～20点以上

(3) 具体的な選考の方法

次の式からS値を算出し、S値の高い者から特記事項記載状況や学力検査の結果を考慮しながら総合選考する。

$$S \text{ (10点満点)} = T \text{ (5点満点)} + G \text{ (2点満点)} + M \text{ (3点満点)}$$

〈凡例〉

- 調査書の記載事項に対する各項目の合計点数：**T 値**
 - ・ 学習の記録：**α 値**
 - ・ 総合所見及び諸活動の記録：**β 値**
- 学力検査の結果：**G 値** ○ 面接の結果：**M 値**
- 各項目の合計点：**S 値**